

ガーナはバケーション(休み)に入ります!

ソドーナミ! みなさんこんにちは! もう間もなく冬休みでしょうか。ガーナは3学期が終わりました。卒業式?ありません。修了式?ありません。でも6年生は同じ敷地にある中学校の教室へ移動するだけで、来年も会えるのでうれしいです。

ガーナは12月で年度が終わります。1月に始まって12月に終わる…なんて分かりやすいんだ! と思いましたが、いつもは違うそうです。コロナ前は9月からが新年度だったそうです。(日本は4月スタートですね。) 9月始まりに少しずつ戻していくため、なんと来年は1月から9月までに1年間の勉強を終わらせなければならないと言われていました。本当なのか、先生たちに確認しても「分からないわ。」と言われます。これが本当だとしたら、来年はとても忙しくなりそうです…。休みも短くなる～!

先生たちに「冬休みは何するの?」と聞きました。(そういえば冬はないので、ただのお休み) 日本の先生たちはみんなが休みに入っても、学校にきて仕事をしています。でもガーナの先生たちは子どもたちと同じく休みになるそうです。

▼ あったかいクリスマスを迎えます! 首都にはサングラスをかけたサンタクロースが!



▲ ワールドカップは大盛り上がり! 放課後に先生たちみんなで応援です。(彼女は校長先生)

ガーナのここがすごい!

実は15日で学校はおしまいでした。しかし14日の夜に「16日まで学校で～」と国から連絡が来ました。そんな直前に言われても…と思いましたが、先生も子どもも受け入れていてガーナすごすぎです! 日本ではありえないですよ。。

一緒に食べよう! ガーナの文化!?

ガーナでは自分が食べているときに「バミドゥヌ! (come and eat) (一緒に食べよう)」と言って誘います。学校では子どもや先生たちによく誘われます。毎回食べているわけではなく、「ありがとう!」と言ってその場を去ったり、会話だけを楽しんだりすることもあります。道を歩いていると、たまに地域の人にも「バミドゥヌ!」と声をかけてもらえます。こういう文化もあるから、地域の人たち同士が理解しあって、助け合って生活ができるのだと思いました。

▼ 買い物にいらしたら「バミドゥヌ!」と声をかけてくれたマダム。初めましてだったので、食べながら自己紹介。知らない人にまでご飯をふるまうのです。



▲ 6年生たちからの「バミドゥヌ!」英語で「Invite you(あなたを招待します)」と言われることもあります。

今日のガーナ飯 「ケンケー」



これはとうもろこしを発酵させたものを使うので少しすっぱいです。からいソースをつけて食べます。先生が朝に食べるお気に入りの食事です!

